

No.	ページ	箇所	修正前	修正後	該当箇所
1	P5	図表3 人口の推移と社人研推計 (国勢調査ベース)	※年齢3区分別の構成比は小数点以下を四捨五入しているため、必ずしも合計が100%になりません	※年齢不詳者もいるため、年齢3区分別の構成比は必ずしも合計が100%になりません	年齢不詳者もいるため、
2	P6	(参考) 人口増減率の比較 2行目	国・県や近隣市町と比較すると、小幅な伸びにとどまっています。	県や近隣市町と比較すると、小幅な伸びにとどまっています。	国
3	P6	図表4 人口増減率の比較	伊奈町4.60 さいたま市3.39 上尾市0.56 全国0.80	伊奈町4.58 さいたま市3.40 上尾市0.57 全国0.75	数値
4	P8	図表6 年齢3区分別人口の構成比の推移と推計		※図表3 (P.5) とは年齢不詳者が含まれていないため構成比が異なります。	年齢不詳者
5	P11	図表10 世帯数の推移	単身世帯数 一般世帯数	単独世帯数 総世帯数	単独世帯 総世帯数
6	P16	図表16 人口推計にあたっての仮定値等の設定 3純移動率	社人研仮定値(平成25(2013)年推計)を採用	平成11(1999)～26(2014)年の男女別・年齢別純移動率を算出し、この間の増減率に基づいて推計	
7	P16	図表16 人口推計にあたっての仮定値等の設定 3純移動率	社人研仮定値(平成25(2013)年推計)をベースに、	上記をベースに、	
8	P29	図表23 「国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要 【横断的な目標】	○新しい時代の流れを力にする ・地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり ・地域におけるSociety5.0の推進 ○多様な人材の活躍を推進する ・多様なひとびとの活躍による地方創生の推進 ・誰もが活躍する地域社会の推進	①多様な人材の活躍を推進する ・多様なひとびとの活躍による地方創生の推進 ・誰もが活躍する地域社会の推進 ②新しい時代の流れを力にする ・地域におけるSociety5.0の推進 ・地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり	①②入替
9	P37	主な取組内容 7行目	複合的な問題の解決に向け、より専門的な相談体制を構築し、一体的に支援します。	複合的な問題の解決に向け、子ども家庭総合支援拠点などの相談体制を構築し、一体的に支援します。	子ども家庭総合支援拠点など

No.	ページ	箇所	修正前	修正後	該当箇所
10	P42	【主な取組内容】 6行目	市のイメージや知名度を高め、市外の人に「訪れたい」「住んでみたい」と感じてもらうとともに、すでに住んでいる市民の郷土愛を醸成するため、市の地理的な優位性や地域資源、自慢できる取組等、市の魅力をさまざまな手段で発信し、関係人口を増やしていきます。（広報広聴課）	市の地理的な優位性や地域資源、自慢できる取組等、市の魅力をさまざまな手段で発信する等、市のイメージや知名度を高め、市外の人に「訪れたい」「住んでみたい」と感じてもらうとともに、すでに住んでいる市民の郷土愛の醸成に努めます。（広報広聴課）	
				市の魅力的な情報をさまざまな手段で発信する等により市外の人とつながりを持ち、本市と多様な形で関わりを持ってもらえるように努めます。（全庁）	
11	P43	* 14	要介護状態に至る前段階。身体的脆弱（ぜいじゃく）性のみならず精神心理的脆弱性や社会的脆弱性などの多面的な問題を抱えやすく、自立障害や死亡を含む健康障害を招きやすいハイリスク状態のこと。	加齢とともに心身の活力（運動機能や認知機能等）が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態のこと。	
12	P44	重点行政指標 がん検診の受診率基準値	胃がん3.0% 子宮がん8.6% 肺がん5.1% 乳がん10.4% 大腸がん13.9% （平成31（2019）年度）	胃がん（男性） 2.4% 胃がん（女性） 3.5% 肺がん（男性） 4.2% 肺がん（女性） 6.0% 大腸がん（男性） 11.9% 大腸がん（女性） 15.8% 子宮がん 8.6% 乳がん 10.4% （平成31（2019）年度）	
13	p45	【重点行政指標】 各種がん検診の受診率	胃がん20.0% 子宮がん20.0% 肺がん30.0% 乳がん40.0% 大腸がん50.0%	胃がん（男性） 3.9% 胃がん（女性） 4.9% 肺がん（男性） 5.5% 肺がん（女性） 7.4% 大腸がん（男性） 13.8% 大腸がん（女性） 17.9% 子宮がん 10.6% 乳がん 11.4% （令和7（2025）年度）	
14	P47	資料編		第2期上尾市地域創生総合戦略全体像	全体像の挿入